<table>
<thead>
<tr>
<th>学期</th>
<th>単元・題材名</th>
<th>時数</th>
<th>学習活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>1 新しい出会い（言葉との出会い）</td>
<td>26</td>
<td>• 1学期は、言葉の意味を深く理解するために、できるだけたくさんの作品に触れ、創作も試みる。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「言葉の力」（導入教材）</td>
<td></td>
<td>• 分野の異なる作品每に、その違いを理解し、作品世界を、生徒個々の生活と照らし合わせて感動できるような授業展開を工夫する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「短歌の創作」</td>
<td></td>
<td>• 活字の世界を音声で表現することの意味と、表現の広がりを確認するために、全ての作品を音読する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「身近な動物の名を覚えよう」</td>
<td></td>
<td>• 漢字の読み書き、言葉の意味等、基本的な事柄を丁寧に確認し、自分の力とできるよう作業を継続する。</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>5 小説を読む（二）</td>
<td>27</td>
<td>• 2学期は、表現活動に重点を置いた授業展開を心掛けます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「父の達也」</td>
<td></td>
<td>• 表現活動に際しては、相手や目的に応じて、自分の考えをまとめてより効果的で、筋道立てて適切に表現できるよう工夫する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「北原の世界」</td>
<td></td>
<td>• 「ヤング短歌賞」応募のために創作短歌を読む。</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>8 古文入門</td>
<td>17</td>
<td>• 3学期は、古典文学作品に触れながら、現代に生きる人間の感性や生活の知恵について考える。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「元のそら」（宇治拾遺物語）</td>
<td></td>
<td>• 日本語のリズムと自己表現のおもしろさを味わうために、短歌・俳句・標語等の創作を毎時間継続する。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

使用教科書（1年次）
「改訂版新編国語総合」（第一学習社）

合計授業時数 70

評価の基準及び評価方法と時期

<table>
<thead>
<tr>
<th>評価基準</th>
<th>評価方法</th>
<th>時期</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>読む・書く・話す・聞くの国語力を全て評価すること</td>
<td>ア定期テストの成績</td>
<td>開始から終了まで</td>
</tr>
<tr>
<td>授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組んでいるか</td>
<td>イ授業内容の発表</td>
<td>週に1回</td>
</tr>
<tr>
<td>教材プリント等の提出物がきちんと提出されているか</td>
<td>ウ小テストの成績</td>
<td>毎回</td>
</tr>
<tr>
<td>読書ノート・課題レポート等の提出</td>
<td>エ自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、1年間を通じて評価の対象とする。</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

留意事項

自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、1年間を通じて評価の対象とする。
# 教科の年間指導計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>学期</th>
<th>単元・題材名</th>
<th>時数</th>
<th>学習活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>言葉との出会い&lt;br&gt;・「言葉の力」（導入教材）&lt;br&gt;・短歌の創作&lt;br&gt;2</td>
<td>26</td>
<td>・1学期は、作品世界の違いを確認しながら言葉の持つ広がりと深さを感&lt;br&gt;得するために、できるだけたくさん&lt;br&gt;の作品に触れることを基本にする。&lt;br&gt;世界の異なる作品毎に、その違いと&lt;br&gt;深さを生徒個々の生活と照らし合わ&lt;br&gt;せて感じてもらうよう工夫する。&lt;br&gt;活字の世界を音声で表現することの&lt;br&gt;意味と、広がりの深さを確認できる&lt;br&gt;よう、全ての作品を音読する。</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>表現の実践&lt;br&gt;①適切な言葉遣い&lt;br&gt;②わかりやすく表現する&lt;br&gt;③自分の物語を紹介する&lt;br&gt;④スピーチをする&lt;br&gt;⑤手紙の書き方&lt;br&gt;⑥電話のかけ方・受け方&lt;br&gt;⑦説明文を書く&lt;br&gt;⑧ディベートで討論する&lt;br&gt;⑨意見を述べる&lt;br&gt;⑩調査をもとに報告する&lt;br&gt;・情報の収集</td>
<td>27</td>
<td>・2学期は、表現活動に重点を置いた&lt;br&gt;授業展開を心掛ける。&lt;br&gt;表現活動に際しては、相手や目的に&lt;br&gt;応じて、自分の考えをまとめたり深&lt;br&gt;めたりして、道を立てて適切に表&lt;br&gt;現できるよう工夫する。</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>物語を楽しむ&lt;br&gt;・「伊勢物語」&lt;br&gt;・東下り&lt;br&gt;・筒井簡</td>
<td>17</td>
<td>・3学期は、古典文学作品に触れなが&lt;br&gt;ら、現代に生きる人の趣味や生活&lt;br&gt;の知恵について考える。&lt;br&gt;日本語のリズムと自己表現のおもし&lt;br&gt;ろさを味わうために、短歌・俳句・&lt;br&gt;標語等の創作を毎時間継続する。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

使用教科書（2年次）<br>「新編国語総合」（第一学習社）

### 合計授業時数

| 合計授業時数 | 70 |

### 評価の基準及び評価方法と時期

評価の基準は「読む・書く・話す・聞く」の国語力を全て評価するものとし、その方法は、次のア～エを総合的に判断して行う。

**ア** 定期検査、実力テストの成績
**イ** 授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組<br>んでいるか、授業プリント等の提出物がきちんと提出されている<br>か
**ウ** 小テストの成績
**エ** 読書ノート、課題レポート等の提出（内容・表現・独創性）

### 留意事項

自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、<br>1年間を通じて評価の対象とする。
教科の年間指導計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>学期</th>
<th>単元・題材名</th>
<th>時数</th>
<th>学習活動</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 1    | 1. 言葉との出会い  
・「言葉の力」（導入教材）  
・短歌の創作 | 26   | ・教科書の構成に従って学習することで、実生活の中で要求されるさまざまな表現についての認識を深めるとともに、実生活の中で活かせる力を増やすための取り組む。 |
|      | 2. 情報を探す（図書館の活用） |      | ・文章に表れたものの見方や考え方を読み取り、「自己表現」について考える。 |
|      | 3. 意見文を書く  
（マップ法と対話法）  
（5分間作文） |      |     |
| 2    | 4. 報告文と発表の技術  
（レポートとプレゼンテーション） | 27   | ・身近な事柄を題材に、表現の基本について確認する。 |
|      | 5. 古典の表現に学ぶ  
（現代に生きる古典の表現）  
・短歌の創作 |      | ・1学期に確認した表現の基本を踏まえて生活体験をまとめ、発表する。 |
|      | 6. 広告の表現技術に学ぶ（広告とレトリック） |      | ・「ヤング短歌賞」応募のために創作短歌を読む。 |
| 3    | 7. 小論文を書く | 17   | ・優れた文章を読んだり、文章表現の基本を再確認する。 |
|      | 8. 討論会を開く  
（主張の観点と根拠を考える） |      | ・日本語のリズムと自己表現のおもしろさを味わうために、短歌・俳句・標語等の創作を毎時間継続する。 |

使用教科書
「国語表現1」（東京書籍）

合計授業時数 70

評価の基準及び評価方法と時期

評価基準は「読む・書く・話す・聞く」の国語力を全て評価するものとし、その方法は、次のア～エを総合的に判断して行う。

ア 定期考査、実力テストの成績
イ 授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組んでいるか、授業プリント等の提出物がきちんと提出されているか
ウ 小テストの成績
エ 読書ノート、課題レポート等の提出（内容・表現・独創性）

留意事項

自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、1年間を通じて評価の対象とする。
### 教科の年間指導計画

#### 広島市立大手町商業高等学校

<table>
<thead>
<tr>
<th>対象年次</th>
<th>4年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教科名</td>
<td>国語</td>
</tr>
<tr>
<td>科目名</td>
<td>国語表現</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 学期

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>単元・題材名</th>
<th>時数</th>
<th>学習活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>プロローグ 表現する技術を考える  ・「言葉の力」（導入教材） 大岡 信  ・短歌の創作  1. 調べる 情報収集の技術  2. 取材する 開き取り取材による情報収集  3. 発表する 情報の保存と記録</td>
<td>26</td>
<td>・小説・短編・随想・詩・短歌（俳句）評論・記録・日記等の中から各自が選択したジャンルで、1学期間かけて創作し、四百字詠歌原稿用紙50枚の作品を完成させる。  ・選択したジャンルにあわせて、創作スケジュールを立てる。  ・スケジュールに従って具体的な作業を進行させる。  ・パソコンを使い、プレゼンテーション形式で発表する機会を持つ。</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>4. 説明する  5. 報告する  6. 発表する</td>
<td>27</td>
<td>「ヤング短歌賞」応募のために創作短歌を詠む。  ・校内生活体験発表会に向けて、各自の生活体験をまとめ、発表する。  ・1学期に完成させた作品の相互批評をさせ、再度プレゼンテーションの機会を持つ。</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>7. 意見文を書く  8. 小論文を書く</td>
<td>17</td>
<td>他著作品への意見文を書く。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

使用教科書
「国語表現II」（東京書籍）

#### 合計授業時数

| 70 |

#### 評価の基準及び評価方法と時期

評価基準は「読む・書く・話す・聞く」の国語力を全て評価することとし、その方法は次のア～エを総合的に判断して行う。

- 強
- イ  授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組んでいるか、授業プリント等の提出物がきちんと提出されているか
- ウ  小テストの成績
- エ  読書ノート、課題レポート等の提出（内容・表現・独創性）

自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、1年間を通じて評価の対象とする。
教科の年間指導計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>対象年次</th>
<th>2年・3年の希望者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教科名</td>
<td>国語</td>
</tr>
<tr>
<td>科目名</td>
<td>現代文</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>学期</th>
<th>単元・題材名</th>
<th>時数</th>
<th>学習活動</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 1    | 1. プロローグ（高等学校卒業程度認定試験にふれる）
     | '冬の詩' | 吉村 昭 |
|      | 2. 自己を見つめる（随想1編）
     | '自分を知ることがいちばんおもしろい' | 鶴尾小穂太 |
|      | 3. 小説を読む（一）（小説1編）
     | '雨傘' | 川端 康成 |
|      | 4. 身近な発見（随想1編）
     | '愛用品の五原則' | 武田 邦彦 |
|      | 5. 詩を味わう（詩3編）
     | '汚れずちまれた悲しみに' | 中原 中也 |
|      | '夏の本' | 石垣 りん |
|      | '生命は' | 吉野 弘 |
| 2    | 6. 小説を読む（二）（小説1編）
     | 'ナイン' | 井上ひさ |
|      | 7. 言葉と思索（随想1編）
     | '我らが内なる虫世' | 養老 孟司 |
|      | 8. 小説を読む（三）（小説1編）
     | '文鳥' | 夏目 漱石 |
|      | 9. 人生の風景（随想1編）
     | '出島のチューリップ' | 吉田 直哉 |
|      | 10. 小説を読む（四）（小説1編）
    | 'ひよこの眼' | 山田 詠美 |
|      | 11. 人間と文化（評論1編）
    | '花女房' | 河合 隼雄 |
| 3    | 12. 小説を読む（五）（小説1編）
     | '倉庫のコンサート' | 池澤 夏樹 |
|      | 13. 小説を読む（六）（小説1編）
     | '山月記' | 中島 敦 |
|      | 14. 言葉と思索（評論1編）
     | '犬も歩けば棺に当たる' | 阿刀田 高 |

使用教科書
「高等学校新編現代文」（第一学習社）

合計授業時数 | 70

評価の基準及び評価方法と時期
評価基準は「読む・書く・話す・聞く」の国語力を全て評価するものとし、その方法は、次のア～エを総合的に判断して行う。

ア 定期考査、実力テストの成績
イ 授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組んでいるか、授業プリント等の提出物がきちんと提出されているか
ウ 小テストの成績
エ 読書ノート、課題レポート等の提出（内容・表現・独創性）

自己表現の実現に向けて、授業毎に作成する作業課題の内容については、1年間を通じて評価の対象とすること。